

大島自治会

各自治会の行事を順次紹介させていただきます

大島自治会は平成26年10月1日現在で960世帯となりました。3年前は770世帯でしたが24年からの鳥屋野大島土地区画整理組合の造成による新しい街（陽街）が出来て若い世帯が増えており、小さなお子さんが増え、全国的な少子高齢化、人口減とは全く逆の状況です。この状況の中で既住居者と新入居者とのコミュニケーション作り、又多世代間の交流が最重要と考え、交流の場

作りと参加しやすい環境作りを心掛けています。大島自治会の2大イベントが7月26日『おおじま夏祭り』と12月7日『もちつき大会』です。いずれも若い自治会育成部の方がメインとなり、子供たちを中心に年々参加人数も増え、大盛況です。又とやのふれあい祭、自主防災訓練の参加もコミュニケーション作りの場として、積極的に自治会として取り組んで行きたいと思えます。



親松自治会は、『住み良い町づくり』をモットーに活動しております。

昭和60年頃行政の土地区画整理事業として、大規模の宅地造成が始まり農家中心の自治会から非農家を含めた自治会へと発展することになりました。農家の人たち等の尽力により、又行政の補助金もあり親松会館が出来た事により活動が加速して来ました。

現在は、一般住民約900世帯、事業所17社の大所帯となっております。

年間の行事としては、6月の第一日曜日に町内一斉清掃があり年々参加者も増え地域の交流が活発に進んでおります。

8月の第三土曜日は、夏祭りを予定しており、午前中に子供祭りで千本引き等のゲームが小学6年生を中心に行われ、夕方はカラオケ大会、夜は盆踊りを子供も大人も参加して盛大に楽しめます。

9月は敬老会を開催。70歳以上の方を対象に会館に集い余興や食事を通して親睦を深めております。

12月は、餅つき大会で締めくり年間の行事を終えます。

今後も、『住み良い町づくり』を念頭に役員一同全力で活動を進めてまいります。

親松自治会



編集後記

第3号を発行する事ができました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。



発行者 阿部 洋一
編集委員 諸橋留利子 中村ひとみ
土田和歌子 小岩 ちエ

とやの コミ協だより

平成26年度 鳥屋野校区自主防災訓練



10月25日(土)今回で10回目となります防災訓練が鳥屋野小学校体育館及び周辺で行なわれました。参加者は鳥屋野校区13の自治会、小学生と保護者教職員、上山中学校学生支援隊の761名が参加しての大規模な訓練となりました。小学5、6年生の参加は今年で2回目となります。地域の連携の強化と防災意識の啓発が目的となっています。訓練は災害時要援護者の安否確認、避難後の整列、情報伝達が行なわれその後グループに別れて初期消火訓練、応急手当訓練、救出・救護訓練、津波避難訓練、炊き出し訓練が行なわれました。

新潟地震から今年で50年、防災意識が強まる中参加者は消防署員や消防団員の方々に質問したり、訓練を数回くり返したりと一人一人が真剣に取り組んでいました。

中央消防署県庁前出張所山本小隊長より今回の訓練の目的と地震や水害から身を守る自助、お互いが助け合う共助の話をしていただきました。今回の訓練により、又地域の結束が強まったのではないかと思います。



青木自主防災会長のあいさつ



応急担架訓練



小学5、6年生による応急担架訓練



給食給水部(アルファ米のバック詰め)



バケツリレー訓練



アルファ米の試食



心肺蘇生法(学生支援隊)



消火器の取り扱い訓練

とやのふれあい祭 ~広げよう 世代交流~

9月28日(日)鳥屋野小学校で「とやのふれあい祭」が行われました。開会式前からたくさんの人で玄関前は大混雑でした。

バルーンアートとにじますつかみどりの整理券配布場所にも大行列で皆さんが楽しみにしていたことが、よくわかりました。

開会式では、実行委員長、校長先生、コミュニティ協議会会長のあいさつがあり、その後のふれあい発表会では、鳥屋野地区の大人から子供まで日頃の練習の成果を披露してくれました。

それと同時に校舎を使ったイベントも行われました。どのイベントも大人気で親子連れや友達同士で参加している人達が行列をつくって待っていました。イベントの1つおばけ屋敷をやっている教室の前に立っていると、教室の中から大きな悲鳴が聞こえてきましたが、ゴールした後ほっとした顔で出てきた参加者達にご褒美のお菓子をもらっていました。身体を動かしたり、頭を使ったり、めいっばい楽しめる企画ばかりで子供達は満足だったのではないのでしょうか。もちろん大人達も、体育館ステージで行われたカラオケ大会では、各町内の代表者や先生方も自慢のものを沢山のお客さんの前で披露してくれました。

寄付品、野菜販売も大盛況で、あっという間に完売になってしまいそうで、教室内の熱気はすごかったです。

11時半からは、ドッチボールコートで、とん汁の振舞いがあり、そのいい匂いに時間の前から長蛇の列ができていました。先回も大人気だったにじますつかみどりで、悪戦苦闘する子供達を大人がサポートしてがんばっている様子はとてもほほえましく感じました。

第2回のふれあい祭でしたが、閉会式ではスポーツ振興会の方からあいさつをいただき、大成功で幕を閉じました。

たくさんの人達の協力のもと鳥屋野地区全体を盛り上げていけるステキなイベントでした。大人から子供まで楽しめることは間違いありません!

まだ参加したことがないという方、ぜひ来年のとやのふれあい祭には、参加してみてください。



飲食場所も満員御礼!



玄関前には移動販売の車も。



寄付品、野菜の販売場所もレジには大行列



匂いにつれられて大行列。



服がぬれても気にせず、大物GET!!



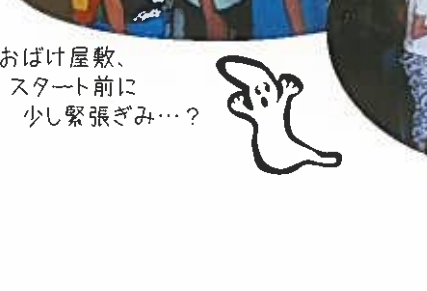
大勢のお客さんの前でのお客さんの発表。



ゴール後、ホッと、お菓子をもらってニコッ。



みなさんの歌声に会場のみなさんも大盛り上がり。



おばけ屋敷、スタート前に少し緊張ぎみ...?

「中央区長との懇談会」

11月20日(木)鳥屋野自治会館にて行なわれました。今回で3回目となります中央区長と鳥屋野校区コミュニティ協議会との懇談会の出席者は、中央区長 高橋建彦様、地域課長 長浜達也様、地域課長補佐 関 智雄様、南出張所長 八木秀夫様、自治会から、会長、副会長、そして鳥屋野小学校より須佐校長も出席され31名の参加となりました。

校区で抱える諸問題について4つのテーマ別に意見交換が行なわれました。フリートークでは中部下水処理場を避難所にと要望が出るなど活発な意見が出されました。

区長懇談会における意見交換テーマ

テーマ	現状と問題点	地域からの質問・要望	中央区回答
1 旧鳥屋野小学校校舎跡地	平成21年に現在の美咲町に移転してなお処分方針が決まっていない。 老朽化した遊具が残っているなど管理が行き届かなく、雑草などで荒れて地域の環境にも悪影響を及ぼしている。	鳥屋野連絡所の開設 コミュニティ施設の整備 ひまわりクラブの移設(現在150人超)	新校舎を建設するにあたり話し合いにより市の財政に協力いただけると決定しており売却は変わらない。不動産事情が良くなり買手がつかない状況にある。 今ある施設に行くにも交通の便もよく、他の地域より便利が良い為開設は難しい。 平成27年度より全学年の受け入れが決っており、只今、ひまわりクラブの新しい体制について整備中であり決り次第報告します。
2 旧教員住宅跡地	ようやく解体撤去されましたが、跡地の処分方針は決まっておらず下水の環境悪化や雑草などの荒廃で地域環境に悪影響を及ぼしている。	公園、緑地、子供の遊び場など地域のためになるよう整備していただきたい。	更地のため今年度中に売却の検討している。
3 公園(広場)の拡充	小規模な公園はあるが、小学校児童が運動を存分に楽しめるような場所がない。ボール遊び等に伴うトラブルや、やむを得ず路上で遊ぶ児童もあり、危険性が指摘されている。小学校グラウンドも利用可能だが、校区の端にあるため自宅から遠い児童が多い。	サッカーやキャッチボール等も楽しめる公園(広場)を整備していただきたい。	機能別に公共施設を作ることは難しい。多世代の方が機能別に使用してほしい。たとえば上級生が下級生を守り、ゆずり合うなど思いやりの心を持つことで公園を上手に使用できるのではないかと。
4 (災害時の避難施設)	校区には約6,000もの世帯がありながら、地震、洪水などの避難所、津波の際の津波避難施設とも受け入れられるだけの容量がない。 鳥屋野小学校は位置が信濃川に面しており、国道、県道に囲まれた地域のはずれで避難しにくい場所にある。	旧小学校跡地を避難施設として整備していただきたい。(再掲)	市のハザードマップによると鳥屋野溝付近で1mその他の所では50cmの浸水である。今ある避難施設でも大丈夫ではないかと。その他色々な対策を検討しています。
(避難所)	指定されている避難所は鳥屋野小学校と上山コミュニティハウスのみ。 全ての避難者を受け入れるのは困難である。		
(津波避難施設)	市の指定は信濃川に面した鳥屋野小学校のみ。 平成24年度に特別養護老人ホームおもと園と老人保健施設にいがた園と協定を締結した。 アパート以外の高い建物が少なく住民は不安を抱いている。		

